

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○7月26日～

先週末にかけて相場は戻して終わっています。五輪後のお盆あたりに大きめの調整があるかもしれないので、下げには気をつけたいです。

FOMCでは、今まで通り金融緩和縮小に向けて慎重な姿勢は維持されると思われるため為替相場に混乱が起こるリスクは少なそうです。欧州通貨やオセアニア通貨に対して、中長期的にドル高の動きが出そうなためドルに対する各通貨の動きにも注目したいです。

<ドル／円>

ドル／円は109円を割り込まなかったことで、再び7月初めの高値111円台半ばを目指す動きになりそうです。下値が109円を割り込んでくるとテクニカル的には調整入りの可能性が出てくるため注意がいらいます。

<気になるクロス円>

クロス円も先週初めに底打ちをした後は上昇に転じているペアが多く、今週は戻りを試す展開になりそうです。

ただし、週足を見ると下落に転じてきているペアも多く、高値買いは避けたいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇／円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

今週は、日本では6月鉱工業生産、黒田日銀総裁発言などがあります。

米国では6月新築住宅販売件数、6月耐久財受注、5月ケース・シラー米住宅価格指数、7月リッチモンド連銀製造業指数、FOMC政策金利発表、パウエルFRB議長定例会見、前週分新規失業保険申請件数、4－6月期GDP（速報値）、4－6月期四半期雇用コスト指数、6月個人消費支出、7月シカゴ購買部協会景気指数、7月ミシガン大学消費者信頼感指数などが発表されます。

欧州では、ドイツとユーロ圏で7月消費者物価指数、4－6月期GDP（速報値）、ドイツで7月IFO企業景況感指数などがあります。

ほかには、カナダで5月GDPの発表などがあります。